

2016年3月

「フランス株式会社法における資本概念」

第5期客員研究員  
早稲田大学法学学術院 助手  
石川真衣

要約

株式会社法における資本概念はどのような意義と機能を歴史的に有してきたのか、また現に有しているのか。フランスにおいては、株式会社における最低資本金制度が維持されているだけでなく、資本金を基礎とした配当規制、資本金額の増加及び減少に対する厳格な規制、会社が発行する重要書面における資本金額の記載義務の存在が示すように、資本はフランス会社法上の重要概念としての地位を維持しつづけていると見受けられる。

たしかに、フランスにおいても、資本金は破産防止規制・配当規制・設立時の入口規制として重要な役割を果たしてきたとされる一方で、現に会社が保有する実際の財産を表すものでないとして債権者保護との関係での機能不足を批判された歴史を有する。しかし、そうした債権者保護機能に関する批判を受けてもなお、資本金は株主による財産（金銭または現物）の出資結果であることにより、会社契約と密接な関係を有する側面がある。こうした契約的結合の産物としての資本金の原点となるのは、1804年民法典第1832条及びこれを株式会社に適用することを明らかにした1807年商法典である。しかし、1807年商法典の下で株式会社が会社契約を基礎とすることが明らかにされたにもかかわらず、設立に際しては契約自由の原則が適用されずに厳格な許可制が採用されることとなった理由は、株式会社形態の特徴である全社員の有限責任制がもたらす影響にある。公益的な大規模事業にのみ設立許可が与えられたことが示すように、株式会社形態の利用により利害関係者の範囲が拡大する可能性があることは、それまで無限責任社員の存在により担保されていた債権者保護という課題への新たな対処の必要性を明らかにした。そこで株式会社の設立許可の基準とされたのが資本金額であり、事業規模に見合う資本金額の設定が促されただけでなく、資本金の不可侵性及び不変性の確保のための措置がとられ、払込方法及び存続期間満了前の解散をめぐる厳格な規制が整備されるに至った。念頭に置かれたのは、株式会社が過少資本状態で事業を継続することの危険性であり、ここに現在のフランス株式会社法における資本概念の課題、すなわち会社契約という会社の性質との関係を維持しながらも、大規模事業においては事業形態及び事業内容に応じた財産の確保そして中小規模事業においては取引の相手方を中心とした債権者保護を保障しなければならないことが見出されるのである。こうした二つの要請の調整がフランスにおける資本概念に表れているのであり、配当規制において株主の利益配当を受ける権利と会社の存続を確保する上での利益の内部留保の対立、株式会社という制度を確保する上で必要な資本増加及び資本減少に

における株主の義務の増加そして株主の締出しの問題は、そうした調整には困難が伴うことを示すものである。調整の過程において明らかになるのは、フランス法が民法典の規定との整合性を確保しながらも、半永続的主体としての株式会社に必要な様々な措置を是認するために、「会社の利益」概念を用いることで、制度（institution）としての会社に必要な資本を確保する方法を編み出したことである。

フランス法における資本概念には株式会社の物的性格の基礎と株主の出資の総体としての会社契約的側面の双方が見出される。たしかに、フランスにおいても、有限会社における最低資本金制度の廃止が示したように、債権者保護機能としての資本金の影が薄れたことは事実であるが、資本概念の意義は出資を基礎とした株主との関係において未だ見出される。資本概念はフランス法における株主の個人権（droit individuel de l'actionnaire）と密接な関係を有し、利益配当及び準備金の分配を受ける権利、義務の増加を強いられない権利、会社から締め出されない権利をめぐる問題はいずれも資本概念との関係で解決が図られ、フランス法における配当規制、資本増加及び資本減少に関する規制は強度の契約理論及び私的自治との調整の関係において捉えられるべきものであると考えられる。

今後は、資本概念の発展において本稿でフランス固有のものとして分析したものが普遍的意義を有するかという問題、及び他国の法制度との関係をめぐる問題を検討することとしたい。

（掲載誌：石川真衣「フランス株式会社法における資本概念（一）～（二・完）」早稲田法学会誌第66巻1号49～95頁（2015）、第66巻2号1～42頁（2016））

- （注）1 この内容の全部又は一部について、日本証券業協会に無断で使用（転用・複製等）及び改変を行うことはできません。
- 2 この論文に述べられている見解は筆者個人のものであり、日本証券業協会としての見解を示すものではありません。